

令和4年度 体力向上における各校の成果(中学校)

越前市

 教育委員会

No	学校名	成 果
1	万葉 中学校	保健体育の授業では、iPadを活用した時間が多かったので、授業の中でも生徒は運動・スポーツを「する」だけでなく「見る」「支える」「知る」といった多様な関わりを持つことができた。友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することの調査においても90%以上の生徒がそのように感じていることが分かった。
2	武生第一 中学校	ICTにより主体的に体力・技能の向上に取り組む生徒は増加し、陸上の単元では学校全体で約91%の生徒が自己の目標に向けて活動していた。 運動部活動では好成績を収める部活動が増えた。県大会、さらなる上位大会に出場するだけでなく、優勝・入賞をする部活動も例年以上に増えた。
3	武生第二 中学校	体育授業での取り組みでは、単元の説明や授業の見通し、毎時の目標など数値を用いて伝えたため、生徒自身が具体的な見通しや目標に向かって自主的に活動ができた。また評価の規準も伝え、生徒自身の現状と比較させるなどして生徒自身の成長や課題を自ら確認することができた。
4	武生第二 坂口分校 中学校	授業始めや部活動の中で持久力及び瞬発力系のトレーニングを継続したことにより、基礎体力が全般的に向上している。部活動で取り組んでいるフットワーク練習・多球練習に継続して1年間取り組んだことで試合における反復運動や反応も良くなり、地区大会でも分校として満足のいく成績をおさめることができている。 また、年度末の学校評価において「体育や部活動など、積極的に取り組んでいる」と答える生徒の割合が100%と非常に高く、運動の楽しさを充分に感じて授業や部活動に取り組んでいると考えられる。
5	武生第三 中学校	体育ではほとんどの授業で腕立て伏せや体幹トレーニング、バーピージャンプ、ダッシュ系の補強運動を行った。継続的に取り組むことで体を支える筋力や持久力などの基礎的な体力を向上させることができた。 また、各種目に応じた準備運動を取り入れることで、種目に必要な体力を高めることができた。
6	武生第六 中学校	年度末に行った独自のアンケートでは、「主体的に運動に取り組んだ」67% 「どちらかといえば主体的に取り組んだ」30% 「運動することは好き」59% 「どちらかといえば好き」28% 「体育の授業は楽しい」76% 「どちらかといえば楽しい」23% だった。今後もこれらの高い数値を継続していけるように、授業づくりを中心に、更なる改善を考えていきたい。
7	武生第五 中学校	授業における補強運動やランニング、部活動におけるトレーニングにより、走能力が向上し、体カテストの持久走や短距離走、反復横跳びにおいてほとんどのカテゴリーで全国平均を上回った。 iPadを活用したグループ活動において、自分の技動画を録画し、仲間からの評価を受けたり、分析したりしたことで、技能の向上が図られるとともに、主体的な学びへと繋がった。
8	南越 中学校	本校は陸上部が無いが、地区陸上と地区駅伝の大会に自主的に参加している。その中で、地区陸上では各競技や種目で入賞者を多数輩出することができた。地区駅伝では男子の部で「5位」と陸上部がある学校にくらいつくこともできた。日頃の授業や部活動での取り組み成果が現れている。